

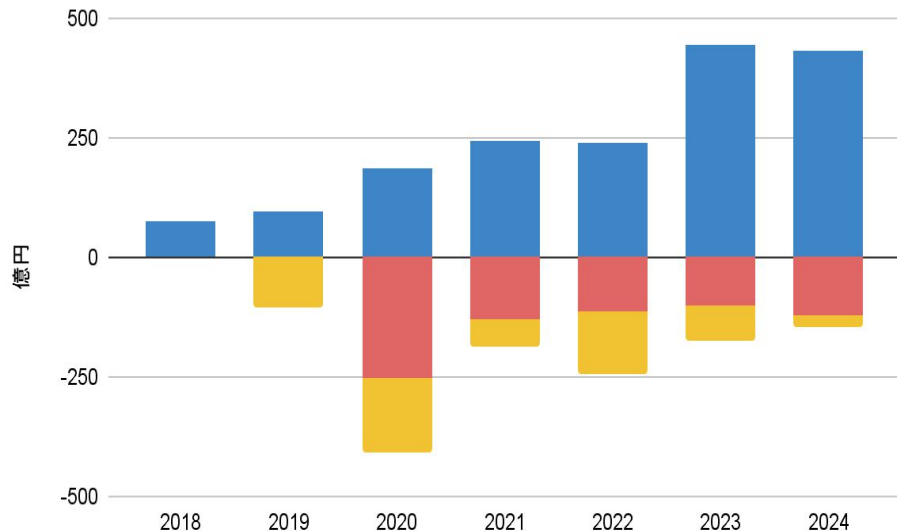
# メルカリ/24/11

YouTube撮影用

# 国内メルカリ事業が安定。その他は赤字

事業別 調整後営業利益の推移(1\$=150円)

merkari(US)    フィンテック    Marketplace(JP)



**Maket  
place**

- ✓フリマアプリ メルカリ
- ✓BtoC、メルカリハロも

**フィンテック**

- ✓メルペイ、メルカード、
- ✓新規サービス投資強化

**Merkari  
(US)**

- ✓米国が主要ターゲット
- ✓目先赤字は縮小

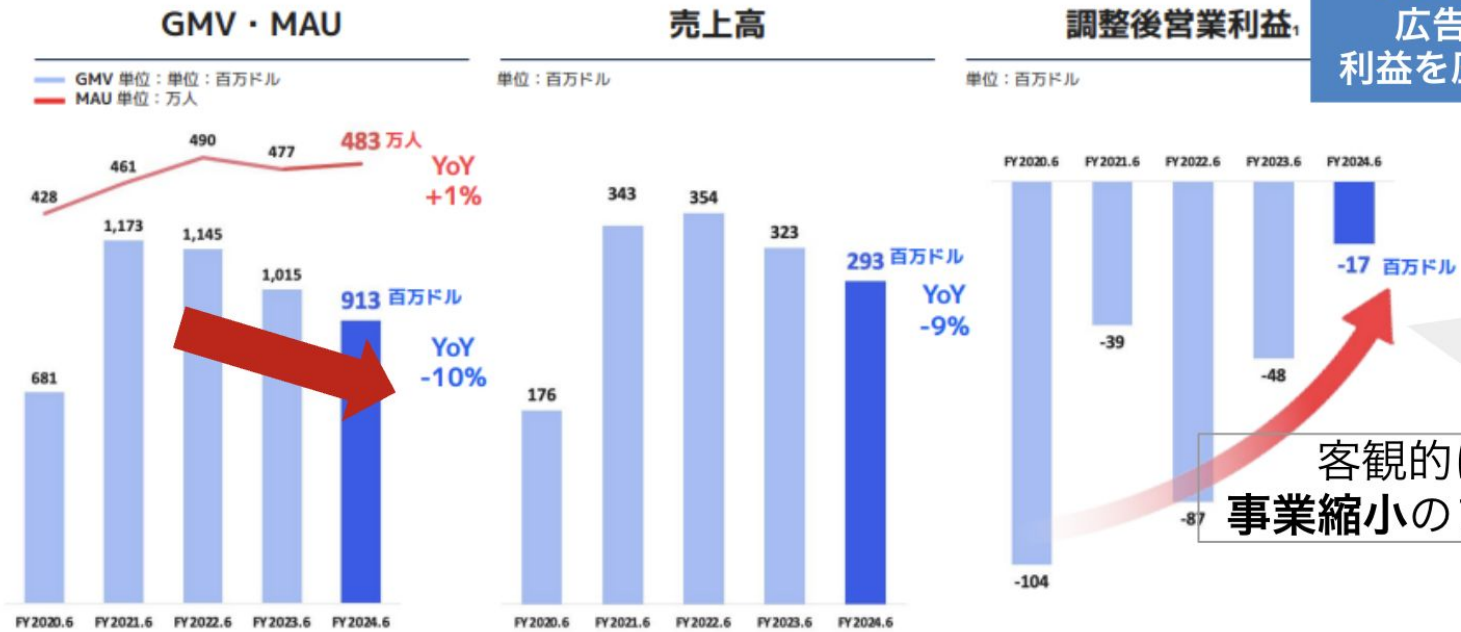
# 米国メルカリ：取引量の減少が起きている

## 3 US 業績推移 (US GAAP/通期)

コロナ禍で取引量増化  
その後は右肩下がり

取引増大に向けた  
広告宣伝などが  
利益を圧迫してしまう

Financial Results Presentation Material



大規模  
リストラ

広告宣伝  
縮小

客観的に見れば  
事業縮小のフェーズか？

1. 営業利益から、株式報酬・減価償却費を控除したもの (=キャッシュベース)

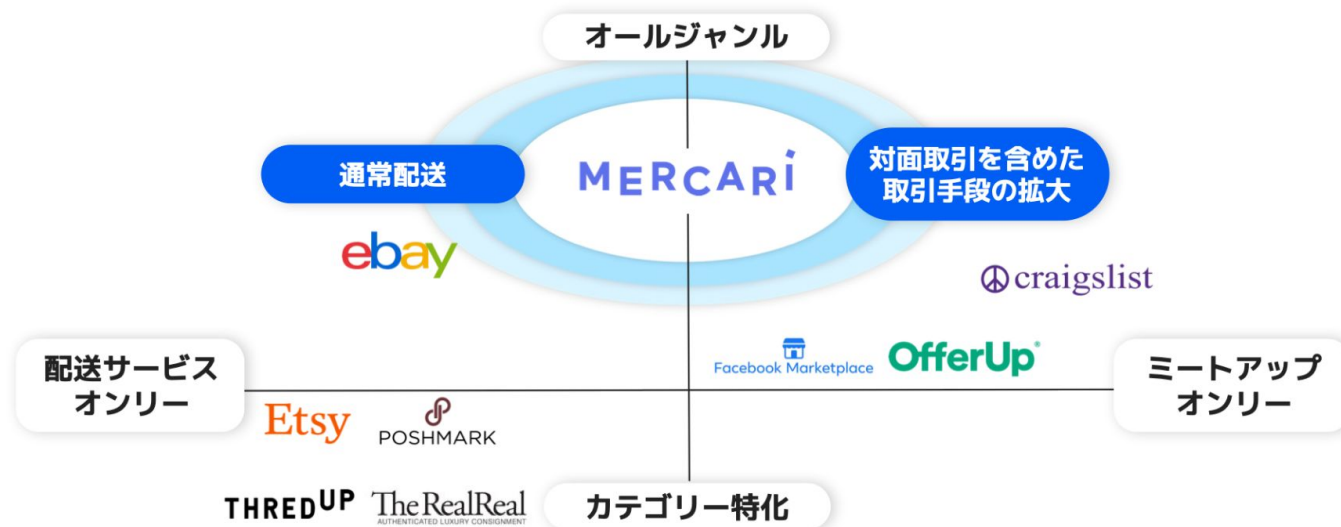
# 米国は日本に比べ競争が激しい

## 7 US 米国におけるポジショニング

mercari

- 米国におけるユニークなポジショニングの確立に向け、従来からの使いやすさの追求に加え、多様な配送オプションを提供することで、“the easiest and safest selling app”を目指す
- 通常配送の強化に加えて、対面取引を含め、ユーザの利便性向上に向けた取引手段の拡大を推進

Financial Results Presentation Material

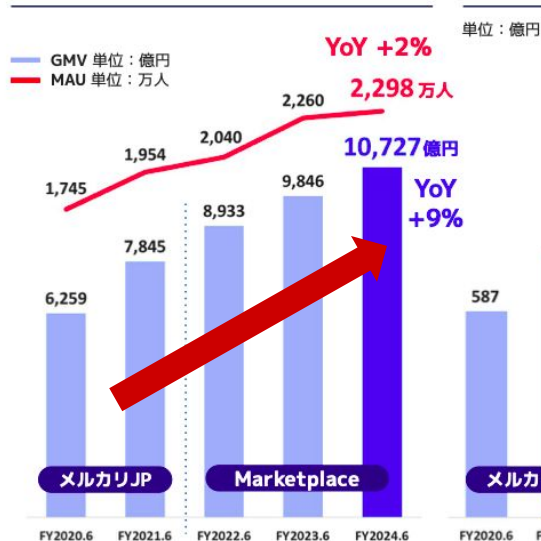


# 国内メルカリ: 基本的には好調

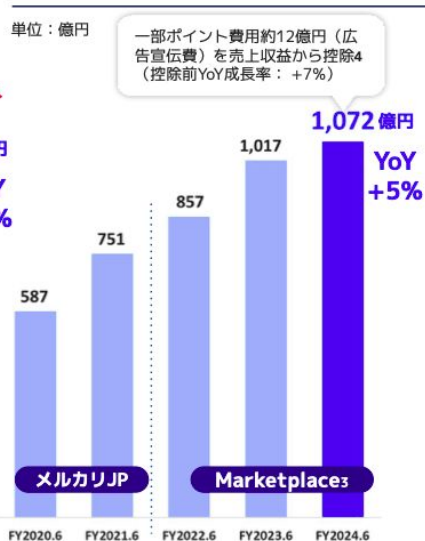
## 3 Marketplace 業績推移<sup>1</sup> (通期)

mercari

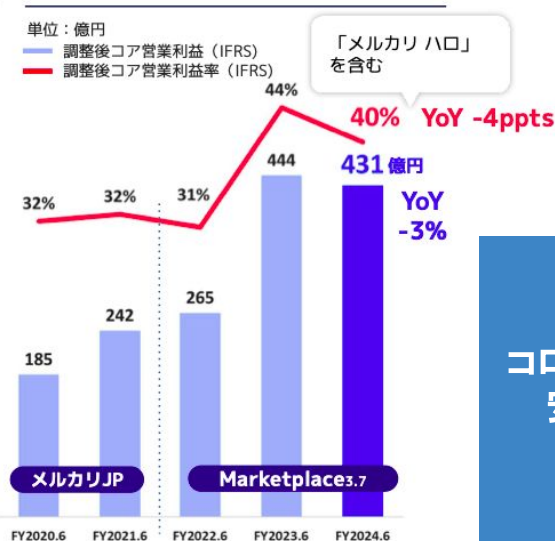
GMV<sub>2</sub>・MAU



売上収益



調整後<sup>5</sup>コア営業利益<sup>6</sup>(率)



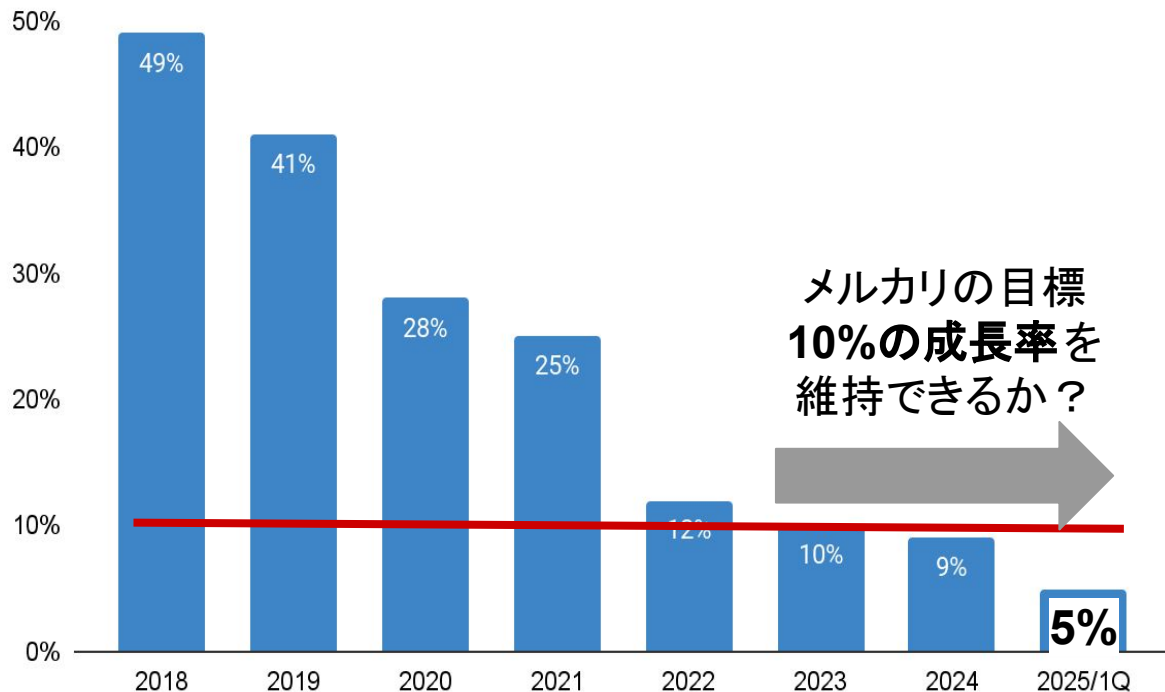
コロナ禍で取引量増  
安定して利益を  
稼いでいる

1. FY2024.6よりIFRSに移行したことに伴い、FY2023.6の実績からIFRSに基づく開示を実施  
 2. キャンセル等を考慮後の取引高の合計。「メルカリ ハロ」は含まず  
 3. FY2022.6とFY2023.6は主にCtoC、BtoC、越境取引の実績。FY2024.6からは「メルカリ ハロ」の実績も含む  
 4. 会計基準に則り、FY2024.6 4Qより一部ポイント費用(広告宣伝費)を、売上収益から控除  
 5. Marketplace・Fintech間の決済業務委託に関わる手数料を控除した数値  
 6. IFRS営業利益からその他の収益/その他の費用等を控除した利益  
 7. 主にCtoC、BtoCの実績から全社費用を控除した数値

Financial Results Presentation Material

# 国内メルカリの課題は流通量成長率の維持

国内メルカリ 取引流通量(GMV)の前年比成長率推移



## メルカリの売上

売買成立時の  
10%の手数料

いかに流通量を増加させ  
取引を活性化させるか？

- ✓ 越境取引拡大
- ✓ BtoCでリユースや  
アウトレット強化

# Fintech: 黒字化へ売上増加

## 3 Fintech 業績推移<sup>1</sup> (通期)

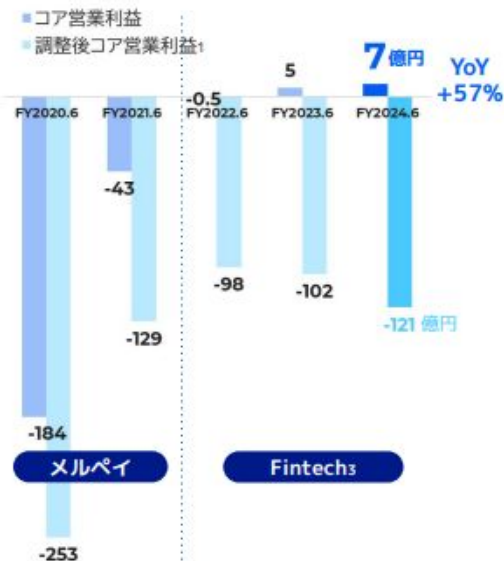
売上収益

単位: 億円



コア営業利益<sup>2</sup>

単位: 億円



mercari

定額払い(リボ払い)

カード融資  
スマートマネー

残高増加

順調に収益  
基盤を確立

1. FY2024.6よりIFRSに移行したことに伴い、FY2023.6の実績からIFRSに基づく開示を実施。Marketplace/Fintech間の内部取引(決済業務委託に関わる手数料)を控除した売上収益  
2. IFRS営業利益からその他の収益/その他の費用等を控除した利益  
3. 主に、株式会社メルペイと株式会社メルコインの実績

# メルカリの課題と25年6月期決算の状況

## 課題1

いかにMercari(US)を黒字化するか  
あるいは事業縮小するか

## 課題2

いかに国内取引量の成長鈍化を  
打開し成長率10%を維持するか

25年6月期1Q  
増収減益

米国メルカリ

国内メルカリ

フィンテック

GMV前年比同期比  
16%減少 赤字拡大  
山田氏 現地CEOへ

GMV成長率は5%  
MAU減少  
メルカリハコで減益

リボ払い残高増加  
事業間取引考慮せず  
通期黒字化達成へ



# 25年6月期は過去最高業績を達成する見込み

## メルカリ 業績推移

